

ウクライナ難民支援から学ぶ **25**

ウクライナ侵攻の情勢下、国会は3/2の議席を改憲勢力が占め、憲法改悪、軍事増強の声が一気に加速している状況です。憲法9条改悪を許さず、戦争への策動は「平和的生存権」を脅かすものであり、社会保障・社会福祉の削減をとまなうものであることを学び、いのち・くらし・人権を最優先する社会について、「憲法を守り、活かす」運動の重要性を学びます。



○ **日時：2022年6月18日(土)**
13時～16時(予定)

○ **会場：オンライン開催**

○ **参加費：無料**

※オンラインでの参加をお願いします。

※Zoom 情報

<https://us06web.zoom.us/j/82113512590?pwd=RGpodlZKeFBGNUpIcHVOTTAzTVFsZz09>

ID: 821 1351 2590 パスコード: 517260

YouTube URL

※主催者会場(全水道会館)～ 実行委員団体、事務局中心、地域的には首都圏

○ **内容(案)**

◆**講演「ウクライナに暮らす人たちの現状～難民支援から見えてくること」**

講師：大室 和也（おおむろ かずや）氏（AAR Japan[難民を助ける会]）

※プロフィール：大学卒業後、理学療法士として働きながら大学院で介護予防を研究。その後病院勤務を経て、青年海外協力隊に参加し、ウズベキスタンの国立リハビリテーションセンターで患者へのリハビリや職員への指導を行う。帰国後、2013年8月にAAR入職。2019年より佐賀事務所勤務。現在ウクライナ支援チームのメンバーとして、モルドバ事務所設立準備を担当。

◆**意見交流「テーマ：コロナが改めて明らかにした社会保障制度の諸問題」**

①拡大する貧困の実態から

②支援を要する人たちを支える社会福祉事業の実態から

③拡大する貧困の実態から

◆**集会まとめ**

主催・憲法25条を守り、活かそう共同行動実行委員会

(事務局) きょうされん 福祉保育労 障全協 いのちのとりで全国アクション 全生連

日本高齢期運動連絡会 中央社保協 ～連絡先 03-5808-5344 (中央社保協)